

No. 5 大多喜町の更なる安全安心な環境について（令 4 和年 7 月受付）

内容	大多喜町で生活する中で、こうしてほしいと考えていること 3 点をお伝えします。 <u>1 つ目：「地域通貨」と「商工会のクーポン」の連携</u> 私は、できるだけ町のために「大多喜町で買い物をしよう」と考えています。「いなげや」では、「商工会のクーポン」は使えても「地域通貨」は使えないと言っていました。「いなげや」は大きな企業なので無理かもしれないので、オリブ内のサービスセンターで、「地域通貨」を「商工会クーポン」に一年中変えていただければ、今までより便利になると思います。 <u>2 つ目：オリブ裏道路の拡張</u> 先日、「赤とんぼ」横のオリブ入口が整備され、かなり安全面が充実しました。ウエルシアの敷地を通らずに、オリブに行くことができ、とても便利になりました。しかしそれを過ぎたところは、電柱が立っていたり道幅が狭かったりと、まだ安全面で不安があります。できればもう少し道幅を拡張してくれたら、よりスムーズな運転ができると思います。 <u>3 つ目：「歩道の整備」及び「白線の補修」</u> 最近父が、車の免許を更新せず 4 輪のシニアカーを購入しました。金額は新品で 30 万円を超えるので、中古を購入しました。高齢者の多い我が町では、今後、高齢者の移動手段として、シニアカーも一つの選択肢となるのではないのでしょうか。 そこで、提案ですが「シニアカー購入に対する補助金」や「歩道の整備」「横断歩道等の白線の補修」が必要になると思います。まだ、乗っている方も少ないのですが、5 年後、10 年後は、増えてくると思います。
回答	ご提案のありました「地域通貨」と「商工会のクーポン」の連携につ

いてですが、地域通貨は町事業所での消費拡大を目的として令和２年度から年間を通して販売し、令和４年７月１５日現在の利用加盟店舗は８１店舗となっております。また、「商工会のクーポン」大多喜とくとく商品券については、商工会の事業として１２０店舗が加盟し、利用期間を定めて、同じく消費拡大を目的に実施しています。

このように、大多喜町電子地域通貨と大多喜町とくとく商品券は、目的としては同じであります。実施にあたりましては町と商工会で販売時期及び団体が異なることと、それぞれの利用しやすさがあることで、大多喜町内の消費拡大に繋がると考え、連携することは想定しておりませんのでご理解いただければと思います。

また、現状では大多喜町とくとく商品券の加盟店に対し、大多喜町電子地域通貨の登録店が少ない状況でありますので、未加盟店に地域通貨の有効性を丁寧に説明し、登録店の増加を推進し、より利用者の利便性の向上に努めて参りますので併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。

２つ目のご提案のありましたオリブ裏道路の拡張について、拡張に向け用地交渉等の協議を進めております。拡張の準備が整いましたら早期着工を目指したいと思っております。また、拡張工事に伴い電柱の設置箇所を移転する計画も進めておりますのでしばらくお待ちください。

３つ目の御提案のありました「シニアカー購入に対する補助金」についてですが、シニアカーは高齢者の移動手段の一つと考えます。しかしながら、事故等も多く発生している状況です。特に、歩車道分離のない道路においては、車道を走行せざるを得ないことから痛ましい事故等にも繋がっているとのことであります。

歩車道分離の少ない本町において、シニアカー購入補助金の導入は考えていないことにご理解くださるようお願い申し上げます。

	次に、歩道の整備や横断歩道等の白線の補修につきましては、シニアカーを利用する方はもとより、道路管理者として道路を利用するすべての方へ安全性・信頼性を確保するため、計画的に整備・維持管理を実施していきたいと思います。
--	--